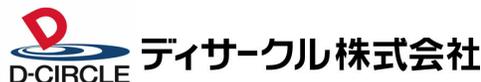


「見える化ソフト」POWER EGGのバージョンアップ

□入替需要に対応したグループウェア機能の大幅な強化

□セキュリティ強化のためのアクセス制御機能の強化



ビジネスポータル関連ソフトウェアの開発・販売を行うディサークル株式会社(本社:東京都中央区 代表取締役社長 西岡 毅 以下、ディサークル)では、統合型ポータルパッケージソフト『POWER EGG V1.8』のバージョンアップ版である『POWER EGG V1.9』を2007年1月より発売開始致します。

1. 「見える化」ソフト POWER EGG の概要

POWER EGG は、主に中堅企業様を対象に、企業内の「見える化」として 会社が診える、 仕事が見える、 リスクが見える、 プロセスが視える、 お客様が観えるという 5 つの「見える化」を実現する統合型ポータルパッケージソフトです。

主な特長としては、

1. 上記の見える化を実現する機能としてポータル、グループウェア、ワークフロー(稟議、経費精算など)、SFA、基幹システム連携機能を標準装備
2. 決裁ルート自動生成機能や多彩なアクセス制御などの機能で内部統制強化を支援
3. 独自の仕組みである「世代別階層型組織図」により、システム運用管理者に対する組織変更時のメンテナンス負荷の大幅削減を実現

の3つです。

また販売実績は、民間企業、地方自治体、病院を含めて2006年11月末日時点(累計)で、約920社167,000ライセンスとなります。

2. バージョンアップによる機能強化概要

今回のバージョンアップは、狙いと概要は次の通りです。

(1) グループウェアの入替需要に対応するための大幅な機能強化

中堅企業内で既に導入済のグループウェアは、操作性やレスポンス性能に起因して一部しか活用されていない社内でもメールに依存した情報交換をおこなっていることから、メール洪水になり、重要な情報の見落としや見遅れが発生している
また、メールの誤送信のリスクがある
内部統制対応のためにアクセス制御を強化したい
組織変更時などのシステム運用管理者の負荷が高く、適切なシステム環境維持が難しいなどの課題や要望を抱えております。

また一方では、大手グループウェアベンダー製品のサポート停止や現行グループウェアの陳腐化などの要因があり、新グループウェアへの入替は、待った無しの状況になっております。

そこで、今回のバージョンアップは、特にグループウェアの利用者機能とシステム管理者機能を中心に以下の内容の強化を図りました。

グループウェア利用者機能

- ・使いやすさを追求した操作性・視認性の向上
 - スケジュール、ToDo、掲示板など全般
- ・メール洪水から脱却するための社内メール機能(レポート機能)の強化
 - 社内専用のセキュアなコミュニケーションツール
 - メールライクな操作性の実現
 - メールと同様な機能(転送、参照作成など)の実装 など

システム管理者機能

- ・導入時や組織変更時の設定工数を大幅に削減するための機能強化

(2)セキュリティ強化のためのアクセス制御機能の強化

内部統制強化や情報漏えい対策の一環として、グループウェア機能にも強固なアクセス制御が要求されている中で、POWER EGG の強みである多様なアクセス制御を更に強化することで、お客様のニーズにより柔軟に対応できるように致しました。

セキュリティ強化のためのアクセスコントロール強化

- グループ会社を前提とした複数会社間でのアクセス制御強化
- スケジュール、稟議などの検索機能のアクセス制御強化
- アクセス権設定単位の拡大 など

製品詳細については以下の通りです。

<製品価格>

POWER EGG Ver1.9 for Java

標準製品 25,000 円/1ライセンス(年間保守料金 1,250 円/1ライセンス)

POWER EGG QUAIL + **電子決裁システム** Ver1.9 for Java

標準製品 20,000 円/1ライセンス(年間保守料金 1,250 円/1ライセンス)

POWER EGG QUAIL + **営業支援システム** Ver1.9 for Java

標準製品 20,000 円/1ライセンス(年間保守料金 1,250 円/1ライセンス)

POWER EGG QUAIL Ver1.9 for Java

標準製品 12,000 円/1ライセンス(年間保守料金 1,250 円/1ライセンス)

<発売日>

POWER EGG Ver1.9 for Java

2007年1月予定

POWER EGG QUAIL + **電子決裁システム** Ver1.9 for Java

2007年1月予定

POWER EGG QUAIL + **営業支援システム** Ver1.9 for Java

2007年1月予定

POWER EGG QUAIL Ver1.9 for Java

2007年1月予定

POWER EGG **自治体版** Ver1.9 for Java

2007年2月予定

<販売目標>

3年間で 800 社 15 万ライセンス

<販売形態>

ディサークル・ソリューション・パートナー経由による販売

<動作環境>

POWER EGG V1.9 for Java

- O S Windows 2000 Server、Windows Server 2003
- Linux(Redhat Enterprise Linux version3 ES/AS)
- Solaris8 for SPARC

D B Oracle 9i、Oracle 10g

- WEB Oracle Application Server 10g
- Interstage Application Server Plus V7.0
- WebSphere Application Server V5.1

<ディサークル株式会社について>

ディサークル株式会社は、ビジネスポータル関連のパッケージソフトウェアを開発・販売することを目的に1999年4月30日に設立しました。

「ビジネスポータル・ソリューションの提供」をメインテーマに、マーケットニーズを的確に掴んだ製品開発を目指し、お客様にとって確実に導入効果が得られる製品 POWER EGG を2000年2月より販売しております。

現在、民間企業、医療機関、自治体など約920社、167,000ライセンス(2006年11月末)の販売実績があり、2003年3月からは自治体業務に特化した職員ポータル POWER EGG【自治体版】を出荷開始しています。

<登録商標>

記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

<本件に関するお問い合わせ先>

ディサークル株式会社
パートナー営業部 企画担当 都平
TEL.03-5551-0321 FAX.03-5551-0329
E-mail:tohira@d-circle.com